

船橋市議会議員選挙候補者

立憲民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan



う ら た ひ で お
浦田秀夫

1987年 船橋市議会選挙初当選 現在7期目 元電電公社（現NTT）社員
現在 船橋市議会副議長 松が丘清和町会会長 松が丘地区社協理事

市民の願いを市政に届け実現してきました

人間ドック、脳ドック助成を実現

市民の健康をまもるために人間ドック助成制度を平成28年度から、脳ドック助成制度を平成30年度から実現しました。

助成額は人間ドックが13,000円、脳ドックは40歳から5歳刻みで10,000円です。

福祉タクシー券対象者を拡大

福祉タクシー券（要介護認定者等が通院などの外出にタクシーを利用した場合、料金の2分の1上限1,200円を補助）の利用対象者を平成29年度から在宅の方だけでなく入院や施設入所者の方にも拡大しました。

学習支援の実現・拡充

貧困の連鎖を断ち切るため、ひとり親家庭や生活保護世帯など学習環境に恵まれない子どもたちへの学習支援の必要性を訴え実現させ、対象者の拡大や開催場所を増やすなど拡充させてきました。

校舎の耐震改修を促進

平成19年度時点で県内最低レベルであった学校校舎の耐震化の実態を指摘し、その後も議会の度に取り上げ、総工事費243億円をかけて27年度末まで完了させることができました。

水害対策の促進

台風やゲリラ豪雨で発生した木戸川や駒込川の流域で発生した水害について取り上げ、抜本的対策として、河川整備や流域の雨水管整備を求めました。木戸川は平成30年度に完成し、駒込川は現在整備中です。

入学援助金の引き上げ

経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対する、入学費用援助金の支給額が、平成29年度からほぼ2倍に引き上げられました。

小学校入学者は20,470円から40,600円に、中学校入学者は23,550円から47,400円です。

それまでの援助金の額は、カバンや制服など実際にかかる費用よりも低いことを指摘し、その増額を求めてきました。

入札制度の改善

平成29年第3回定例市議会決算委員会で1者入札、落札率99%問題を取り上げ、予定価格事前公表の見直し、地域要件の拡大など入札制度の改善を求めました。

入札制度の改善によって、平成30年度の建設関係の工事契約の落札率は90%程度に改善され、工事費の約1割が節約されました。

浦田秀夫さんを再度市政に



浦田秀夫さんはいつも市民の思い・願いをしっかり受け止めそれを市政に届け実現しています。

浦田秀夫さんは市政の隅々まで熟知し、どんな問題でも市民の力になってくれます。

浦田秀夫さんは温厚で、真面目で誠実な方で、船橋市政になくてはならない人です。あなたの一票で浦田秀夫さんを再度市政に送ってください。

立憲民主党代表 枝野幸男

誰もが幸せを実感できるまちづくり

① 学校トイレの洋式化促進

平成 28 年 4 月 1 日の文科省の調査によれば船橋市の学校トイレの洋式化率は 30.2%で、県内 54 自治体中 51 位です。市長は学校トイレの洋式化促進を公約しましたが、平成 30 年度当初予算計上はゼロでした。子ども達に喜ばれ、災害避難時に高齢者も使いやすくなる学校トイレの洋式化を促進します。

② 児童相談所の設置

児童虐待から子ども達の命を救うために、市長が公約した市独自の児童相談所の早期設置を実現させます。

③ 生ごみ収集回数は週 3 回に戻す

船橋市は平成 30 年 10 月から生ごみの収集回数を週 3 回から 2 回に変更しましたが、これは紙オムツを使う子育て世帯や在宅介護の高齢者の反対意見を無

視したものです。最低でも夏場は週 3 回に戻すように求めています。

④ 人間ドック・脳ドック助成の改善

市民の健康を守るために人間ドック・脳ドック助成制度を実現させましたが、助成額は費用の 3 分の 1 程度です。他自治体なみに費用の 3 分の 2 程度の助成を実現させます。

⑤ マンホールトイレの整備促進

災害時に一番困るのはトイレです。避難所になっている学校や公園などにマンホールトイレの整備促進を求めています。

⑥ 大型公共工事の見直しで財源確保

福祉や子育て支援の財源を確保するために、大型公共工事の見直しや入札制度の改革、税金の無駄遣いを止めさせます。

子育て支援・教育

- ① 認可保育園の増設によって保育園の待機児童を解消します。また幼稚園の保育事業への参入を後押しする施策を進めます。
- ② 幼児教育・保育の無償化を促進し、その充実を図ります。
- ③ 子ども医療費の助成を高校 3 年生まで拡大し、学校給食の無料化を進めます。



介護・医療

- ① 介護が必要になっても住み慣れた地域や自宅で暮らせるよう、介護・医療・保健・住まいの充実を図ります。
- ② 特別養護老人ホームを必要とする方々が 2 年も 3 年も待たずに入所できる施設整備を進めます。
- ③ 医療センターは高度医療・救急医療の充実を図るとともに、いつでも誰もが受診できる市民病院としての役割を守ります。



防災対策

- ① ゲリラ豪雨による水害を防止するために、河川改修や雨水管整備、貯水池の整備を促進します。

- ② 大震災に備えた、防災備蓄品の整備や実態に即した防災訓練の改善を図ります。

道路・交通

- ① 市民が安心して歩ける歩道、生活道路の整備を促進します。
- ② 北習志野駅周辺の放置自転車対策を地元商店会の協力を得て行います。

環境・エネルギー

- ① 原発のない社会をめざし、再生可能エネルギーの導入・普及を図ります。
- ② 公園・緑地の整備を進め潤いのあるまちづくりを進めます。
- ③ リサイクル・リユース・分別収集の徹底によって資源循環型社会を構築します。



浦田秀夫さんを応援します。

野田佳彦 衆議院議員

宮川 伸 衆議院議員



主な推薦団体

船橋市私立幼稚園連合会 建設ユニオン千葉支部
京成電鉄労働組合 京成バス労働組合